

震災体験者から

学ぶ、つなぐ、暮らしへの備え

PhotoVoice しゃしん こえ
— フォトボイス (写真と声) とともに —



「ぼくは東京でくらしたい」 マリリン 2018年9月

東日本大震災から8年目。

今回の防災・減災講座は、発災時から活動が続けてきたNPO法人フォトボイス・プロジェクトのメンバーに写真に込められたメッセージなどを伺うほか、2019年の地域の防災訓練で活かせるアイデアや日々の暮らしの備えについて展示品から学ぶ内容です。

フォトボイスとは、東日本大震災の被災者が自ら撮影した写真と声（メッセージ）です。2枚の写真は今回お話しくださるプレゼンターが撮影されたものです。



「未来への通行止め」 遠藤優美子 2015年7月

2019/3/8～3/22 館内でフォトボイス展示(開館時間内・無料。最終日は16時まで)

日時	2019年3月16日(土) 10:00~12:00		
会場	川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21) 2F 第1・2研修室		
講師	●プレゼンター: マリリンさん(仮名) 福島県から東京に自力避難 遠藤優美子さん(宮城県女川町 ^{おながわ}) 避難所の責任者を経験 湯前知子さん(NPO法人フォトボイス・プロジェクト共同代表) ●女性の視点でつくるかわさき防災プロジェクトメンバー		
対象	関心のある方、だれでも	定員	30名
受講料	無料	持ち物	筆記用具
保育	あり。先着10名。 保育料:350円/1人(対象:1歳から就学前/3月13日(水)までに要予約) 保育持ち物:飲み物、おむつ、おやつ、ハンドタオル、ビニール袋、着替え ※すべてに記名		

2/13(水) AM9時~受付 電話・FAX・ホームページにて受付。会場および申込方法の詳細は裏面をご覧ください。

主催: 女性の視点でつくるかわさき防災プロジェクト(JKB)、川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)

共催: NPO法人フォトボイス・プロジェクト ※表記共催は一部、公益信託オラクル有志の会ボランティア基金の助成によります。

2011年の震災発生直後から現在まで、被災した女性たちが、その経験と地域や社会の課題を写真に撮り、グループで語り合う活動を支援しています。郡山市・福島市（福島県）、仙台・石巻・女川（宮城県）、宮古市（岩手県）、首都圏に7グループあります。メンバーは社会に伝えたいメッセージ（声）もついています。写真と声のパネルを展示し、撮影者は語り部として被災経験と防災の重要性について伝えています。写真集の発行、国立女性教育会館の「災害復興支援アーカイブ」などでも発信しています。

今回は、自分の写真と「声」を紹介しながら、被災や避難の経験、現状と今後の課題を提起。参加の皆さんと共に考えます。フォトボイスとはどのようなものか、手法の紹介もします。

参加申込用紙 FAX : 044-813-0864 (FAX 受付時間 9:00~21:30)

講座名	PhotoVoice 震災体験者から学ぶ、つなぐ、日々の暮らしの備えーフォトボイス(写真と声)とともに(3/16)				
ふりがな 氏名	-----				
電話番号					
年代			お住まい の区	市内 () 市外 ()	区
保育の 希望	○を付けてください あり ・ なし	お子さんの なまえ	※ひらがなでご記入ください		お子さんの 年齢
				歳	ヶ月
連絡カードはHPよりダウンロードできます。事前にご記入の上持参することも可能です。(アドレス下記参照) https://www.scrum21.or.jp/facility/childcare/					

【すくらむ21の取得個人情報の利用目的】必要に応じて、皆さまから情報を収集させていただく場合がございます。ただし個人を特定できる情報を、法令に基づくものを除き、本人の同意なく第三者へ提供することはありません。なお、外部委託する際には、個人情報保護水準を十分に満たしていることを条件に選定し、機密保持契約を締結した上で委託します。また、本人からの個人情報の利用目的の通知・開示・訂正・追加または削除・利用停止・消去及び第三者への提供の停止の要請があった場合には、当社で定める所定の手続きに則り速やかに対応いたします。

申込先

川崎市男女共同参画センター
〒213-0001 (愛称：すくらむ21)
川崎市高津区溝口 2-20-1
電話：044-813-0808
FAX：044-813-0864
URL：https://www.scrum21.or.jp/

スマートフォンでホームページから申込む場合はこちらのQRコードを読み取ってアクセスしてください。



すくらむ21

検索

会場までのアクセス

